



発行所：ベトナム子供基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話(代表)：03-3946-4121 ファクス：03-3946-7599

電子メール：kodomokikin@nifty.com ホームページ：http://homepage3.nifty.com/vcf/

ベトナム子供基金通信

No. 43

2008. 4. 19



『美しい昔』(作曲=チン・コン・ソン、歌=カイン・リー)を初めて聴いたのは1973年、ベトナムでだった。

YMCAの夏季ワークキャンプで交流したベトナム人の若者が歌ってくれた。当時はまだベトナム戦争中で、いつ終わるとも知れない泥沼の戦争であった。

わたしは今もあなたのそばで
命続くまで夢見てたのに

今は地の果てで愛を求めて
雨に誘われて消えてゆくあなた
哀調のこもったこの反戦歌を、
ギターをつま弾きながら歌ってくれた10代後半の若者の右手人差し指の第1関節から先はなかった。

それがまた、このワークキャンプに参加した日本人全員に強烈な印象をもたらした。若者のお兄さんはカトリックの神父だった。

『美しい昔』は78年のNHKの

TVドラマ『サイゴンから来た妻と娘』の主題歌として、歌われていた。

自分の妻がベトナム人だということもあり、折にふれてこの歌を思い出す。近年ベトナムに行く機会は何度かあった。『美しい昔』を歌ってくれたあの若者にはその後会っていないが、どうしているだろうか。

みなみ やすお
(南 康雄)

ベトナムとの出会いは何ですか

長くベトナム子供基金の翻訳をしてくださっている、早川明子さんに、ベトナムの事情や翻訳者になったきっかけを伺いました。

ABKでベトナム語を学ぶ

「ベトナム子供基金」の存在を知ったのは、1999年、アジア文化会館（ABK）のベトナム語講座に通っているときです。現在もベトナム子供基金で活躍されている今井さん・窪寺さんと同じクラスになり、子供基金の詳細を知りました。

ホーチミン市の青葉奨学会のことは、ベトナム在住時に知っていました。

皆さんとは逆に、青葉奨学会を知ってから、日本の支援組織ベトナム子供基金事務局がABK内にあることを知ったのです。

翻訳のお手伝いを始めたのは2000年の春からです。

ベトナムに3年半住む

銀行員である夫が、転勤でホーチミン市に住むことになったため、必然的にベトナムに向き合うことになりました。95年から99年まで3年半くらい在住しました。

ベトナムで生活する上で、現地語を習得するのは必須ですから、「必要に迫られ」て勉強しました。夫が別の国に転勤・駐在していたら、私がベトナム語を勉強することはなかったと思います。帰国後、ABKに来て、ベトナム子供基金

のお手伝いをさせていただくこともなかったと思います。

偶然の重なりで子供基金と出会うことになりました。

青葉奨学会のこと

ベトナム在住中に青葉奨学会のことを知りました。

現地の在留邦人の婦人会などに、ベトナム子供基金の日本人現地スタッフが来られて、青葉奨学会の活動を紹介していました。

恵まれない子どもたちに教育の機会を与え、若者の夢の実現を後押ししている青葉奨学会の活動は大変素晴らしいと思います。

青葉奨学会を今日まで発展させてこられたホウエ先生の強固でゆるぎない信念と行動力には本当に敬服しています。

ベトナムの印象

ベトナムには日本に好意を持っている人が多いと思いました。

ベトナム人は勉強熱心で、向上

心が高く、勤勉でもあります。

近年経済発展が著しく、政府も国民も「成長しよう」というパワーにあふれています。

それにおいしい果物類が豊富で、ベトナム料理も日本人の口に合いますね。

ベトナムの課題は、地域格差の是正、公的保障制度の充実などだと思います。私は、今以上に力を入れる必要があると思います。でも「機会があったらまた住みたいですか？」と聞かれたら、即座に「はい」と答えますね！ とても魅力的な国です。

ベトナムの教育制度

ベトナム人は子どもの教育に対する関心が非常に高い国民です。しかし、現在は教育設備が不十分です。

特に地方農村部や山岳部では、校舎や付帯設備など基本的インフラが未整備の場所が多数あります。経済発展に伴い、高等教育への



ホーチミン市で大家さんと（左端筆者）

…翻訳者の早川明子さんに聞く



ホーチミン市人文社会科学大学東南アジアセンターベトナム語クラス 年末(旧暦)に行われるパーティーで担任の先生と記念撮影(左筆者)

ニーズが高まっているのですが、大学の数が少なく、大学入試が非常に狭き門になっているのが現状です。

ベトナムでは小学校から落第制度があり、学年末に所定の成績を取れないと進級できません。また、小・中・高それぞれ最終学年には卒業試験があります。入学すれば、進級・卒業が当然視される日本の教育制度と大きく異なる点だと思えます。

一方、郡・市・省・全国レベルで、成績優秀者選抜試験があり、上位入賞者には地域の学力重点学校への入学が認められ、大学入試での特典が与えられたりするようです。

VCF の子どもの手紙の翻訳

青葉奨学会からベトナム子供基金に送られてくる、ベトナムの子どもの手紙は、平日の夜、仕事から帰宅した後や、土・日曜日を利用して翻訳しています。何人分もすらすら進むときもありますし、手紙の文字がくせ字で読みづらく

1通の手紙に何日も悪戦苦闘するときもあります。

手紙を通して、ベトナムの児童・生徒の皆さんが、厳しい家庭環境にありながら、勉強への強い意欲を持っていることを感じます。

儒教思想が残ってい

て、家族のきずなや愛情は、現在の日本より強いと思います。

「家族が病気なので自分が一生懸命勉強して将来医師になり病気を治してあげたい」とか「親が苦勞して学校に通わせてくれているから、将来立派な人間になって両親を経済的に楽にしてあげたい」という内容の手紙を読むと、今の日本でこういう考えを持つ子どもが一体どのくらいいるのだろうかと考えさせられます。

里親の方々への興味・関心もとても強いと思います。里親から手紙や写真が届くのを心待ちにしている様子が手紙から伝わってきます。

心に残る手紙

「家の経済状態が好転したので自分よりもっと厳しい境遇のお友達に奨学金をあげてほしい、自分にはもう奨学金を頂くことはないけれど里親さまのことはいつまでも忘れません」という温もりのある手紙とか、「将来の夢は学校の先生になること」と言っていた生徒

の手紙が「師範大学に合格しました」となり「もうすぐ教育実習です」に変化し「卒業して教壇に立ちました」というように成長のプロセスを追える手紙があり、心に残る手紙は数え切れません。

ベトナム語学んで

ベトナムの人とコミュニケーションが取れるようになったことは大変よかったと思います。現地で買い物するときに、値段をぼられなくなったことが一番のメリットだったかもしれませんけど(笑)。

ベトナム語を使いながら、日本とは気候も生活習慣も文化も異なる国で生活したことで、視野がとも広がったと思っています。



ホーチミン市在留邦人婦人会アオザイパーティーで友人と(右筆者)

〔略歴〕1962年、神奈川県生まれ。東京都立大学法学部卒。現在は兵庫県在住。家族はご主人とヤドカリ1匹。趣味はゴルフだったが、ベトナムから帰国後マラソンにチャレンジ。近年は100キロマラソンにも出場し完走。

定期会員総会開催について (通知)

会員各位

ベトナム子供基金代表 近藤 昇

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素はベトナム子供基金の活動に温かいご支援を賜りお礼申し上げます。さて、下記の通り2008年定期会員総会を開催いたします。ご多忙中恐縮ですがご出席いただきたく、ご通知申し上げます。なお、会員総会は会員の3分の1以上の出席をもって成立しますが、全国各地にいらっしゃる皆さま全員に総会にご出席いただくのは困難な状況にあります。欠席なさる方は、可能な範囲で、出席予定の方にご意見をご委任ください。総会当日ご出席なさらない方で委任状提出のない方は、ご意見を議長に一任したものとさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。同封の「出欠はがき」に必要事項をご記入の上、切手を張って、5月13日(火)必着でご返信ください。

敬具

記

日時 2008年5月17日(土曜日) 午後2時から4時

場所 アジア文化会館教室 東京都文京区本駒込2-12-13 電話 03-3946-4121 (代表)

議題 1号議案 2007年活動報告

2号議案 2007年決算報告および会計監査報告

3号議案 2008年活動計画案

4号議案 2008年予算案

総会終了後に、ベトナム留学生によるスピーチを予定しております。

基調報告

ベトナム子供基金は今年6月3日で13周年を迎えます。会員の皆さまのご協力に深く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援いただけますよう、子どもたちとともにお願い申し上げます。

2007年はベトナム青葉奨学会に総額7,901,230円の支援ができました。主な内訳は青葉奨学生への奨学金413名分4,348,830円、黄梅基金2,958,577円です。黄梅基金の預金利息から農村・漁村・山岳地域の恵まれない子どもたち630名に奨学金を支援しました。

また、前年まで青葉奨学会が中心になってベトナムだけで行われていた「春の木運動」〔テト(旧正月)に恵まれない子どもたちに新しい制服を送る運動〕への参加要請を受け、昨年末から今年初めに募金活動を行いました。幸い多くの方々にご理解いただき、短期間に予想を上回る募金が集まりました。今年はまだ少し余裕を持って、さらに多くの皆さまにご協力いただけるような活動を目指したいと思っております。

この間、事務関係諸経費削減の努力をいたしました。

『ベトナム子供基金通信』は38、39、40、41号を発行いたしました。41号からA4版に変更しました。子どもたちの学業に精進している様子や将来に対する希望など、会員の皆さまに正しくお伝えできましたでしょうか。

運営委員会は毎月第3土曜日に運営委員と会員の出席で開催されました。

里子履歴票および里子の手紙翻訳はボランティアの皆さまのご協力でスムーズに行われています。感謝申し上げます。

2007年に新入会されたのは、里親会員27名(30口)、黄梅会員2名、賛助会員6名、計35名です。これからの長いお付き合いをお願い申し上げます。

会計関係報告

2007年決算報告(2007年1月1日~12月31日)

2008年予算(案)

項目	A 07年予算額	B 07年決算額	B-A 差額	08年予算(案)
*収入				
当期里親基金(一般)	5,840,000	5,542,000	▲298,000	5,650,000
当期里親基金(学生)	0	0	0	0
当期一般基金	250,000	332,000	82,000	330,000
当期賛助金	500,000	212,000	▲288,000	220,000

黄梅基金	500,000	2,509,146	2,009,146	500,000
利息 その他収入	0	523,815	523,815	0
当期総収入	7,090,000	9,118,961	2,028,961	6,700,000
前期繰越額	2,277,454	2,277,454	0	2,446,776
収入合計額	9,367,454	11,396,415	2,028,961	9,146,776
*支出				
奨学金	4,800,000	4,348,830	▲451,170	4,400,000
黄梅基金	1,300,000	2,958,577	1,658,577	1,300,000
その他支援	110,000	593,823	483,823	600,000
支援金額合計	6,210,000	7,901,230	1,691,230	6,300,000
経費				
発送費	227,200	131,340	▲95,860	200,000
事務所費・会議費	99,384	168,647	69,263	150,000
印刷費・コピー費	177,000	254,490	77,490	250,000
通信費	37,200	45,309	8,109	50,000
年会費・参加費	0	0	0	0
備品・消耗品購入費	40,000	20,288	▲19,712	40,000
スタッフ活動費				
ホーチミン事務局	0	0	0	0
東京事務局	360,000	180,000	180,000	360,000
損害保険 ビザ取得	0	0	0	0
交通費 (ホーチミン)	0	0	0	0
交通費 (東京)	78,000	209,000	131,000	350,000
雑費・振込み手数料	60,000	39,335	▲20,665	60,000
当期経費支出額	1,078,784	1,048,409	▲30,375	1,460,000
当期収支差額	2,078,670	2,446,776	438,106	1,386,776
*当期繰越金差額	2,078,670	2,446,776	438,106	

流動資産

普通預金みずほ銀行駒込支店 (一般口)	1,269,352
みずほ銀行駒込支店 (黄梅口)	220,000
みずほ銀行駒込支店 (nifty)	7,027
郵便振替口座文京グリーンコート (一般口)	808,000
郵便振替口座文京グリーンコート (黄梅口)	60,000
郵便貯金文京グリーンコート (経費支出用)	33,945
現金	48,452
合計	2,446,776

緊急支援 (円)

06年からの繰越金	66,472
07年収入	0
07年支出	0
08年への繰越金	66,472

塩入清さんを悼む



本会会員塩入清さんが2007年11月13日がんのため亡くなりました。00年にNPOナースリー・ソルトを設立し、ベトナム子供基金にも加入され、途上国の不遇な子どもの支援にのり出したばかりでしたから、60歳での他界は無念だったに違いありません。

02年にベトナム子供基金茨城支

部設立を新聞報道で知って鹿嶋市から水戸市まで駆けつけて、すぐ私たちの趣旨を理解して本会に入会してくれました。

ベトナムには強い関心を寄せ、発会式に出席された青葉奨学会代表グエン・ドク・ホウエさんとは遅くまで話し込んでおりました。

ご自身が黄梅資金を拠出され、さらに友人に働きかけて第二の黄梅資金を作られました。

「ベトナムに理想的な教育の場を作りましょう」と何度も相談し合っておりました。しかし昨年春、

私が病を得て活動を中断せざるを得なくなり、秋にはがんを悪化させた塩入清さんがこつぜんとして逝ってしまわれました。

告別式は鹿島灘を臨む、ご自身が園長を務める「子鹿幼稚園」で、久保田愛策牧師の司式で行われ、法務大臣も弔辞を寄せました。

奥さんの豊子さんは「あれもこれもと夢見ていた矢先、思いもかけずがんという診断、病と闘いながらも、いつも自分のできることを模索していた人」だと語っています。(植田 泰史)



トナムからの手紙

青葉奨学生の手紙の一部を抄出します。なお、本文と写真は直接関係ありません。また、編集の都合上儀礼的な言葉は極力排除し、文章も抜粋しました。

両親の愛を知りません

ヴ・ティ・ミー・リン

お手紙が届きました。お写真も入れてくださったのですね。とてもうれしく感激です。

もうすぐクリスマスですね。今日は里親さまとご家族皆さまにごあいさつを申し上げたくお手紙いたしました。

お手紙から初めて里親さまのお年を知りました。私の祖母と同年齢ですから里親さまはもう一人のおばあさまですね。そう呼びしてもよろしいでしょうか。

私の祖母は私が勉強できるようにいつも心配りしてくれます。一

方里親さまは通学して勉強できるように学費を出してください。私はこの上なく感謝しております。里親さまは慈愛に満ちたお方ですね。

私は両親の愛情を知らずに育ちました。私には兄も姉も弟も妹もいません。

私は祖母が突然亡くなったときに心配します。私には頼るところがありません。

しかし現在は通学できるように援助し気遣ってくださる里親さまがいてくださいます。私の望みは里親さまやご家族を訪ねて日本に留学すること、そして将来には幸福で温かい家庭を持つことです。

そのために、私は優秀な成績が得られるようただ一生懸命勉強するだけです。

2007年の終わりに、私は里親さまが贈ってくださったお金を頂きました。ベトナムは現在冬が始まりとても寒いです。私は美しい日本の様子をテレビで見ました。日本も私の国ベトナムのように輝かしくきれいですね。お手紙が長く

なりそうなのでこの辺でペンを置くことにいたします。

(Vu Thi My Linh 2007.12.16)

ハノイ医科大学に進学です

グエン・ティ・ホン・フォン

里親さまとお二人のお姉さまはお変わりなくお元気でいらっしゃいますか？

里親さまのお手紙を受け取ったとき私はとてもうれしかったです。

私も今まですっかりごぶさたしてしまい大変申し訳ありませんでした。

大学に入学したばかりなので戸惑いがあり勉強も大変で時間があまりありませんでした。

私は国民経済大会計学部とハノイ医科大学多科目医師学科に合格しました。そして自分の夢であったハノイ医科大学を選択しました。

医学の勉強はとても大変です。私たちは1日に午前・午後の2部、1週間に5日間、たくさんの科目を勉強しなくてはならず、どの科目も長く難しいです。修了まで6年間かかります。時々私はとてもしんどくなります。でも苦勞をしなかったら成功しないだろうと考え直しました。これから頑張ります。

私の弟妹も私の母校レ・ホン・フォン (Le Hong Phong) 専門高校に合格しました。彼らは家を離れ下宿生活が始まりました。私の兄は学校を卒業し間もなく就職します。

私の両親は変わりなく元気で普



通どおり仕事をしています。父は私に私たち家族からの感謝のごあいさつを里親さまにお伝えするようにと申しておりました。

私は寄宿舎に住んでいます。私の部屋には各地から集まった10人の学生がおり、楽しく仲良く暮らしています。

家はハノイから110km 離れており、勉強も忙しいので、なかなか帰郷することができません。ホームシックになり両親やきょうだいのことを思い出します。

下宿生活の学生には困難や不足がいくつもあり、初めて私は両親のありがたさを感じました。

今は試験の季節です。

最初の科目の試験が終わったところで、成績は普通でした。まだあと6科目残っています。私はとても心配ですが、次回里親さまにもっと良い成績をご報告できるように頑張ります。

私が里親さまからご援助を頂くようになってから6年もたったのですね。すでに何回も手紙に書きましたが、もう一度私は里親さまのご援助に感謝申し上げたいと思います。6年後に里親さまに私の卒業式の写真と病院で白衣を着ている写真をお送りすることができますよう、これからも頑張ります。

皆さまがいつもお元気でお幸せに過ごされますように！

(Nguyen Thi Hong Phuong
2007.11.30)

私の家は貧しいです

グエン・ティ・ホアイ・トゥ
長い間里親さまにご様子をお伺いするお手紙を差し上げる機会がありませんでした。今日ようやく里親さまにお手紙を書いています。

私と姉は変わりなく元気ですが、母は相変わらず病気と背中中の痛みで苦しんでいます。

里親さまが今まで何年間もご援助くださいましたことを心から感謝申し上げます。

里親さまがいてくださったおかげで私は今日まで勉強することができました。私(8年生)の家庭は大変貧しい上、姉が12年生で勉強しています。学費もとても高く200万ドン近くかかるので、母は姉の学費を払うために借金を繰り返しています。

新学年の始めに友達は何人か連れて行って学費を支払いに行きました。私は机に座ったままで、涙が何度もあふれてきました。もし学校に払うお金がなかったら学校から追い出されてしまうかもしれないと思ったからです。

でも学校が終わって家に帰ったら母が奨学金を受け取れる書類があると教えてくれました。私はうれしくなりいつの間にかうれし涙を流していました。2007-08年度、里親さまの奨学金を受け取ることができ、学費が用意できました。

私は一生懸命勉強し、

母や姉に孝行し、先生方の言うことを聞く良い子どもになり、友人には親切にすることをお約束いたします。将来、自分のような貧しい子どもたちのため、少しでも貢献したいと思います。

毎回里親さまのお手紙を読み終わると私はそれを全部注意深く置みます。里親さまの写真は額に飾ります。毎回誰かが尋ねたときにそれは日本の里親さまなの、と答えられるようにするためです。

里親さまがいてくださったおかげで私はようやく今日に至るまで学校の費用を用意することができました。あらゆる人が皆、私はとても幸運だと言います。

里親さまご存知ですか？ 私は里親さまの国のこと知るため毎日国際ニュースを5分間見ることにしています。

もう一度改めて、里親さまのご一家の皆さまのご健康を謹んでお祈り申し上げます。さようなら。

(Nguyen Thi Hoai Thu)



●事務局から

◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(敬称略 「新」は新規会員)

2008年1月

2008年2月

2008年3月

※最終入金日 封筒の宛名ラベルの下に 会員番号KD-××× ○年○月○日と印字してあります。

※基金のお申し込みは下記の専用口座にお願いします。

里親基金&一般基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00140-1-70399 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 1495745

黄梅基金&学校建設基金 口座名義「ベトナム子供基金」

郵便振替 00190-6-666994 銀行振込 みずほ銀行駒込支店 普通預金 8071959

■2008年1月「春の木運動」報告

皆さまのご好意により、当初の予定を超える総額521,000円のご寄付を頂きました。ベトナムの青葉奨学会に全額(77,757,000ドン相当、1円=約149ドン)を送りました。青葉奨学会から本会に謝意が寄せられています。ご協力ありがとうございました。

■2008年4月19日現在、ベトナム子供基金が里親基金等で支援する奨学生(=里子)数は401名です(黄梅基金奨学生を除く)。

◆ベトナム子供基金(会員を募集しています)

里親基金：年額1口2万円 学生会員：年額1口1万円	特定の「里子」に奨学金を支給する里親になっていただきます。ベトナム青葉奨学会から里子の履歴票が届き、里子と手紙のやりとりができます。
一般基金 年額1口1万2000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。子供基金通信によって、会の運営、子どもたちの様子をお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数等、いっさい自由です。
ベトナム黄梅基金 1口1万円	ベトナム子供基金の会員で基金を設立します。
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立します。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上、決定します。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、個人またはグループで学校建設と黄梅基金を併設した基金を設立します。

ベトナム青葉奨学会 QUY HOC BONG LA XANH 電話：84-8-8477359 ファクス：84-8-8477527
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU 43D/46 Ho Van Hue, Q. Phu Nhuan, Ho Chi Minh, Viet Nam
日本の「ベトナム子供基金」は、ベトナムの「青葉奨学会」を通し、ベトナムの子どもに贈られます。